

意見交換会実施報告書（公募）

【2班】

開催団体	薩摩川内市高齢者クラブ連合会	参加人員	21人			
開催日時	平成29年11月17日（金） 13:30～15:10					
開催場所	市総合福祉会館					
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当	議員名	出欠	担当
	下園 政喜	○		今塩屋 裕一	○	司会進行
	落口 久光	○	記録	中島 由美子	○	
	川畑 善照	○				
	石野田 浩	○				

意見交換の内容

（凡例 ◆団体の意見 ◇議員の意見）

平成29年度第7期介護保険事業計画に伴う新地域支援事業実施に向けて、5万人会員増強運動実施に係る薩摩川内市高齢者クラブ連合会の任務について

《意見交換の概要》

- ◆ 県として、高齢者クラブへの入会者を今後5万人増員する計画であり、協力要請をしたい。
（薩摩川内市として2000人の増員目標）
議員は、地域を良く知っているなので、勧誘などで協力してほしい。
できれば議員の皆さんも名前だけでも高齢者クラブに入ってもらい、加入促進に協力してほしい。
- ◇ グラウンド・ゴルフなどには参加したいが、入会は遠慮したいと言う方が多いと聞いている。また、農家の方などは70才・80才でも現役で働いており、クラブの入会はなかなかできないことが実情である。
- ◆ 名前だけでも入ってもらえれば、人間心理として1年のうちに1回でも参加しようか、という思いになるのが人間だと思う。
役所や九電のOBで、就業中は色々な事に“協力をお願い”していた人が、引退後、高齢者クラブへの入会のお願いに行くと、門前払いや「住む世界が違う」と言って、全然協力して貰えないこともある。
- ◆ 自治会単位で実施している“サロン”の活動が、入会の障害にもなっている。
（表現上は“ネックになっている”と言う表現）
“サロン”は、助成金目当ての活動になっているのでは、との意見もあり。
- ◇ サロンと高齢者クラブは、その目的が違うので、ここでは議論できない。
- ◆ 高齢者クラブで、サロンまで取り込む事も考えられるが、そうすると双方の面倒をみることになるため、実質不可能に近いと思う。

《主な要望等》

- ◆ ポイント（スタンプ）の上限を現在の“50”から増やしてほしい。
- ◆ 議員の皆さんは、ほとんどが高齢者クラブに入っても良い年齢になっているため、是非入会して、勧誘活動にも積極的に協力いただきたい。（自らが入っていなければ、勧誘の言葉にも説得力がない。）